We 25R

No.232　03/07/04

優勝！

まさかこの学級通信に「優勝！」などと書き記す日が来ようとは！！！

＊

しかし、こう言っては何だが、学年８位だった合唱祭に比べても、この大会には期待も何もしていなかっただけに、超ビックリである。なにせ、柔道が格闘技であることを考えると、どの男子の顔を思い浮かべても、「笑い」とか「まったり」といった言葉は連想されるが、「真剣」とか「迫力」とかいった言葉は浮かんでこない現状からして、まあ授業の成果の一部でも見られればイイだろうくらいの気持ちで応援していたのであるが、勝ち進むにつれて、それぞれの技もだんだんと冴えてきて、本当に見ていて楽しかった。

今だから言うが、●●くんがあんなに強いとは思っていなかったので、最初メンバー表の「大将　●●」を見た時は、作戦か？と思ったほどである。しかし、●●君の「僕も●●君には投げられました」という証言通り、一本勝ちが２回と見事な試合ぶりだった。決勝で●●くんから一本を取れずに悔しがっていたところなどはさすがである。

その●●くんは、見ていて安定感もあるし、もっとも風格のある試合運びだったと思う。決勝だけは惜しくも有効を取られてしまったが、技の掛け合いだったので、どちらに判定が転んでもおかしくない感じであった。

一回戦ではドキドキさせてくれた●●くんは、２回戦の激戦を制してからは自信がついたのか、決勝の面倒くさそうな相手からも有効を奪って終始有利に試合を進め、初戦勝利というはずみをつけてくれた。

これまた一回戦で番狂わせだった●●くんも（胴衣の着方が悪かったのである…）、２回戦、決勝戦では部活で鍛えた足腰の強さを充分に発揮して相手のわざを封じ、見事に連勝、さすがである。

見ていて一番楽しかったのは●●氏。２回戦の●●くん相手にも、終始自分のペースを失わず善戦したのは立派。決勝の●●君との対戦は、もう最高に楽しかった。私の隣の席でＩ田先生が観戦しており、（体型を見れば分かる通り）柔道経験者ということでいろいろ解説してくれたのだが、●●氏vs●●くんの試合では、解説する間もなく笑い転げていらした。唯一の解説は「これは柔道ではありませんね」である（笑）。応援席からも「柔道しろよ～」という暖かい声援（罵声？）もあがって、見応えのある相撲…ではなく、柔道であった。２勝は立派である。

＊

ちなみに、出場選手の平均体重が一番軽かったクラス（28R）は56キロであるが、我が25Rは76キロ！　決勝相手の24Rも65キロだから、みごとにそのデータを生かしきった快勝といえよう。

剣道も、２試合とも２－３という惜敗だったので、判定の微妙さを考えると、男子諸君、この大会ではなかなか頑張ってくれたといえそうだ。女子の声援もよかったし、思い出に残る結果となってよかった。